

川合貞一 おほひのこたけ 哲學者、文學博士。明治二年二月二十九日美濃國安八郡川並村生れ、昭和二十年六月十九日没（八七〇—一九五五）。明治二十年慶應義塾主文藝科卒。新潟師範學校教師のち、三十二年第一回義塾留學生としてドイツへ。歸朝後教授、文藝部長。

著書に『學術講演録・第二輯』（他六名合著・大日文明協會編、大正五年）二月十五日大日本文明協會事務所）、『現代哲學への途』（大正十一年九月十八日東京光閣書店）、『哲學から教育へ』（大正十一年十月十日東京光閣書店）、『カントと現代の哲學』（再版・大正十二年十月二十五日東京光閣書店）、『明治或る感想録』（他二名合著・文藝協會編、昭和二年六月）二十四日文明協會「文明協會ニューズ」、『歐米社會思想とその批判』（他二名合著・思想問題研究会編、昭和八年二月）二十五日社會教育會）、『マルキシズムの哲學的批判』（五版・昭和八年七月）二十七日青年教育普及會）、『恩』（昭和十年十月）二十日國民精神文化研究所「國民精神文化類輯」）、『改訂新論理學綱要』（昭和十四年四月）二十一日慶應義塾出版局）、『福澤諭吉先生と語の』（昭和十六年七月五日白里書店「東洋文化叢書」）、『恩の思想』（昭和十八年六月）二十日東京堂）、『マルクシズムの哲學的批判』（昭和二十二年）二月十日京都・丁字屋書店）等の他、『川合教授還曆祝賀論文集』（川合貞一教授還曆祝賀會編、昭和六年十一月二十日川合教授還曆祝賀會）がある。

